



moritoie.net

森と暮らす まちを育む 森とイエ

森とイエ 通信 Vol.15

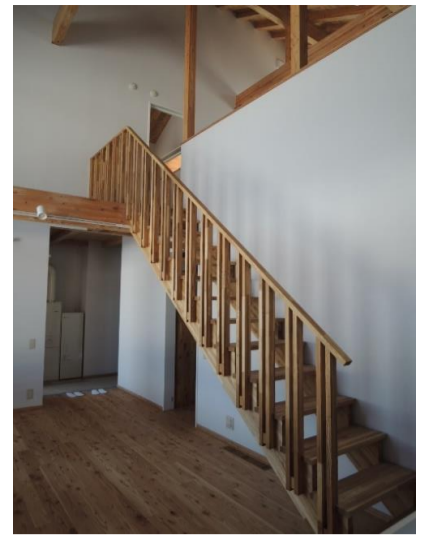
「森とイエ」は
地域の工務店と建築家が
協働して
これからの北海道らしい
住宅を創造する
プロジェクトです
企画・運営
森とイエ プロジェクト

お問い合わせ

「コンシェルジュ(山形)直通」
090-8273-4362

「森とイエ サポートセンター」
札幌市中央区大通西26丁目1-18
円山アーク301号
Sa design office 内
TEL & FAX:011-213-7636

「森とイエホームページ」
<http://moritoie.net/>



ST HOUSE in名寄

10

最初に、森とイエでお家を計画したい！とご連絡いただき、メンバーみんなで会いに伺ったのが2015年のことでした。そこから一緒に土地を探し始めて、なかなか想いにFITする敷地に巡り合えないまま時が流れ…。でも、その間もずっと森とイエのイベントにご参加くださり、2017年に新たな土地のご縁があって、住まいづくりの計画が再び始まったのです。

長い道のりだったようで、振り返るとあつという間なものです。今はただ、最後まで寄り添いサポートできたことに感無量なのと、これはいつも感じることなのですが、嬉しさとしお+娘を嫁にやる父のような気持ちで、寂しさも胸に

抱えつつ、ただただクライアントの新しい門出にエールを送る想いです。

また、私が森とイエの設計チームとして実際設計させていただいた1件目で、施工していただいた山形建設さんは、事務所解散前の最後のお仕事ということもあり、お互いに思い入れ深く、いい住まいを作ろう！という気持ちいっぱい関わらせていただきました。

コロナウイルスのこともあり、内輪だけの見学会でしたが、森とイエOBの皆さんも駆けつけてくださり、感謝の1日でした。(住宅の概要とか書く前に文字数がいっぱいになってしまいました…)



column

国の登録有形文化財に、昨年登録された北海道内の建築物は、函館市の「函館公園



こどものくに空中観覧車」、網走市の「網走市立郷土博物館本館及び新館」、そして土別市の「大野家住宅主屋（旧大野組事務所兼主屋）」でした。

おや…「土別市」…「大野」…？
そうです！ご察しの通り、「大野家住宅主屋」は「森とイエ」メンバーの大野土建さんの旧事務所なのです！昭和2年(1927年)の建築。木造平家建てで、内部には応接室などの洋室を配しています。93年という長い年月この地域に根付き、和風民家への洋室導入の有様を伝えてきた上質な建物です。

現在一般公開はされていませんが、「森とイエ」の活動を通じて、皆様にもご覧いただける機会をもうけられればいいなと思っています。



コロナ禍どうしてた？

新型コロナウイルスの登場は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。下川と札幌。メンバーはそれぞれどう感じていたのでしょうか？

札幌

この5ヶ月間、想定外の出来事に、私の事務所でもマスクの着用、事務所の配置変え、リモート会議に時差出勤や在宅勤務と試行錯誤を続けてきました。

幸いにも今のところ感染はありませんが、どの対策に効果があったのかはまったく分かりません。「未知」とは大きな不安や恐怖を生み出すものだと感じています。一方、街を見たとき、人がいない大通り公園や、誰も乗っていない地下鉄を目の当たりにして、経済効率を追求し、過度に集中を続けてきた都市の脆弱性に気が付かされました。人口密度と感染拡大の因果関係も指摘されています。

「腹八分目に医者いらず」。あらためて、都市や社会が健康で長生きするため、空間的「ゆとり」の大切さを考えているこの頃です。



下川

2月上旬、クルーズ客船での集団感染騒ぎがニュースに流れた頃は、どこかリアリティーが薄かったのですが、緊急事態宣言が出された4月から、今までにない新たな日常が始まり、この小さな下川町の暮らしにも色々な影響がありました。

各種イベントや会議等の中止、各総会等の書面議決、飲食店の営業自粛やテイクアウトメニュー実施等々…。さらに、下川町の飲食店を応援するクラウドファンディングもスタートしました。食べたいと思ったときに食べに行くこと、行きたいと思ったときに行きたい場所に行くこと。これまでは当たり前に行ってきたことが、実はとても幸せなことだったのだと気づかされました。

森とイエの会議もZoomでのオンラインミーティングになり、コロナ禍により人々の働き方も変わりました。テレワークが一般的になれば自然の豊かな小さな下川町での暮らしも可能になり、移住の方が増えるかも…とせめてもの淡い期待を寄せています。

最後に、命をかけて新型コロナウイルスと闘っている医療従事者の皆さんへの感謝を忘れずにいたいと思います。



下川町まちおこしセンター 『コモレビ』が話題です

「コモレビ」は森とイエ建築家メンバーの「Sa design office」が設計し、工務店メンバーの「丸昭高橋工務店」と「山形建設」が施工で関わっています。昨年には、第2回 JIA北海道支部 建築大賞2019にて一般部門優秀賞を受賞！森とイエのイベントなどでも随分とお世話になっているので、何だか森とイエが受賞したように嬉しいです！また、日本建築学会の「作品選集2020」にも掲載され、最近では、建築デザイン専門月刊誌「新建築」2020年7月号にも取り上げられています(建築業界では凄いことなのです)。

下川から全国、世界へと！はばたけ「コモレビ」！

あれこれ

事務局と地域コンセルジュが変わりました

森とイエの機構が変わりました。地域コンセルジュが相馬さんから山形さんになりまして、事務局が「下川町ふるさと開発振興公社 クラスター推進部」から「森とイエサポートセンター(Sa design office 内)」に移っております。お問い合わせ先などが変わっておりますのでご注意ください。

「森とイエ」の歩み

10年を迎える森とイエの歴史を「歩み」としてまとめました。ブログでもご案内しましたが、こちらからも見る事ができます。

